

COVID-19感染症病棟 体制構築の経過報告

獨協医科大学病院4階西病棟

看護師長 生井郁子

看護師主任 上野秀子



はじめに

2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19とする）は、2020年1月に日本でも発生した。当院では、2月にCOVID-19患者を受け入れる準備が行われた。

A病棟は

陰圧部屋が7室設置されていること

呼吸器内科病棟であること

他患者を避けたエレベーターの使用が可能であること
などから該当となった。

4月から10月までに14名の患者を受け入れてきた。

その経過を報告する。



部署紹介

- ・病床数:41床
- ・部屋数:トイレ・シャワー付き個室16室(陰圧7室)
一般個室7室
2人床1室
4人床4室
- ・主な診療科:呼吸器アレルギー内科・泌尿器科
- ・稼働率:87.3%(2020年1月)
- ・平均在院日数:17.3日(2020年1月)
- ・1日平均患者数:35.8人(2020年1月)
- ・看護要員(2020年1月):看護師28名



経過

1) COVID-19患者受け入れ病棟に決定・準備

- 陰圧部屋1床
- 感染者隔離区域作成
(廊下に防護幕を張り、養生
床を色別ビニールテープでゾーニング)
- 部屋を設定
(防護具の着脱室、手洗い・含嗽)
- 知識・技術の習得
(防護具の着脱・対策・対応方法)
- 他疾患患者の入院人数制限



経過

2) 部署1例目受け入れ

- 2020年4月1日：病院長より「COVID-19患者を受け入れ人数を増やす」と説明を受ける
- 看護師役割・担当・配置を決定
シミュレーションしながら準備
- 感染制御センターより防護具着脱の指導を受けながら実践
- 院内他部署と調整
薬剤師・放射線技師・ME・臨床検査部・栄養課
事務(施設課・経理課)・コントロールセンター
リネンサプライなど



経過

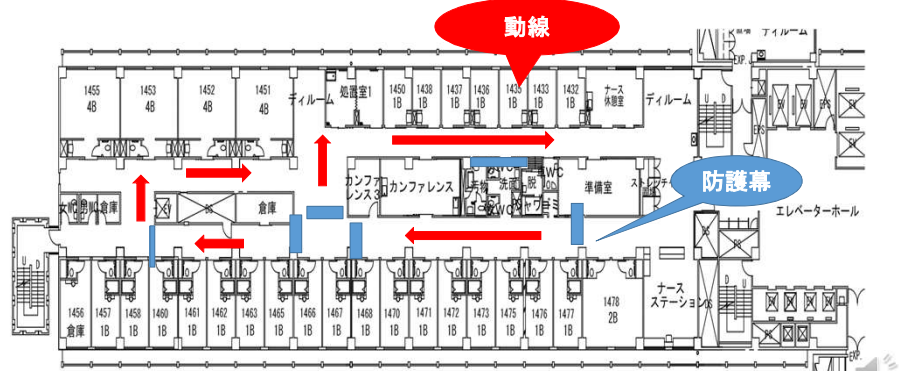
3) 部署2例目受け入れと専用病棟へ転換

- 4月2日、さらに1名の入院が決定
- 看護部長より「COVID-19患者専用の病棟にする」と説明を受ける
- 入院患者の調整
(退院または他病棟へ移動)
- 看護要員の調整
- 防護幕・ゾーニング修正
(6名の患者の入院が可能となった)



病棟の概要

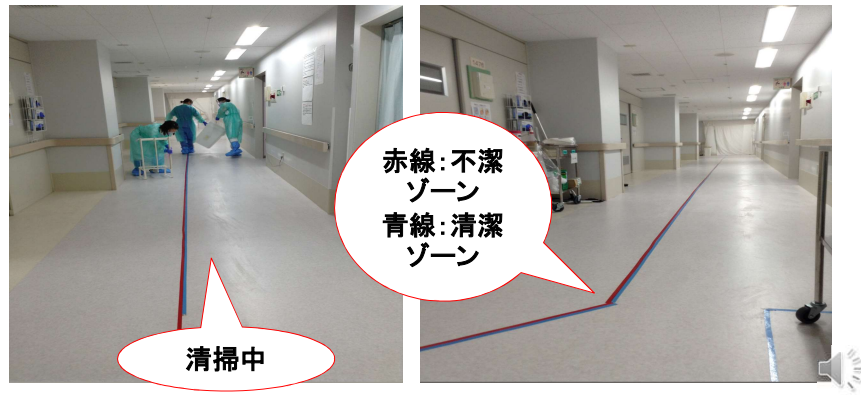
感染隔離区域を分け、動線を一方方向に定めた



防護幕による養生



清潔・不潔領域のゾーニング



着衣・脱衣室と手洗い・含嗽部屋



患者受け入れの実際

1) 看護体制

- 看護師の必要人数を想定
(患者の状態に合わせて)
- 看護師の役割
 - ① 直接介助者: ベッドサイドでケアをする
 - ② 間接介助者: 防護幕の中で物品搬入などの仲介
直接介助者の脱衣時の介助
 - ③ 外回り: 間接介助者に不足物品渡す
病棟外の医師と連絡
指示の確認やデータ入力
- 産科や小児科患者の入院を想定した話し合い

患者受け入れの実際

2) 環境整備

- 設備
病室内にカメラ・内線電話
を設置
- 術衣で作業
- 掃除用具
(使い捨て物品・
危険物用容器へ廃棄)
- 宿泊施設の手配と助成



患者受け入れの実際

3)患者の対応①

➤入院時役割

病室で処置にあたる者



病院入り口から患者を搬送する者

入院時の処置



入院時患者用オリエンテーション

リーフレット作成

<p>～入院時オリエンテーション～</p> <p>① 病室はアースコートにてお入りください。 ・1日のスケジュールは、前日の夜に多量発行お渡しします。 ・病室は夜間の照明で1日1日異なります。ご利用の際はご注意ください。 ・食事① 朝7時30分、昼12時、夕18時頃に配膳させていただきます。お昼は病室スタッフが機嫌よく配膳いたします。 ・配膳② 病室（病室のバスマット）は病室で貸し出ししております。 洗面用シャンプーは病室に備えています。 クロロキシゲル（パジャマ上）150円、パジャマ（上）150円、パジャマ（下）100円、靴下 50円 ※洗面用色紙の用意が病室に備わっております。 ・洗濯① 衣類の洗濯は毎日行っております。その際、病室電話から1日1回アスコーム機で消毒させていただきます。 ・衣類② ・入院に際し必要な書類があります。サインはお願いいたします。 ① 同意書、入院説明書、病室説明書、アスコーム機、薬剤師が処方する必要薬 ② 履歴、その他書類は担当との連絡を避けるため、お部屋の入り口の機嫌をさせていただきます。 ・お荷物③ ・お荷物があれば、お預けにさせていただきます。病室で預入できます。一旦、病室で預入させていただきます。お預けに預けさせていただきます。 ・入院中の電話をオン、録音モニターを装着します。お預けの際は、アースコートにてお自身の病室をお預けすることになりますので、下着を預けお預けいたします。</p> <p>④ にお預けしますが、貴重品はスタッフアームのポケットに入れてお預けして入院生活の安心なようお預けさせていただきます。</p>	<p><安全カメラ使用について></p> <p>患者様の安全を確認するために病室内にカメラを設置しており、ナースステーションで観覧させていただきます。 ご理解ご協力をお願い致します。 患者様の状態安定と安全が確認できた場合はカメラを中止します。患者様の清潔援助や更衣、シャワー浴等の時はカメラを一時的に停止し、プライバシー保護に努めます。 また、患者様のご希望により一時的にカメラを中止することも可能ですので、お申し出ください。</p>	<p>患者様のご家族の方へ</p> <p>院内すべてにおいて面会が制限されています。当部署に入院された患者様は面会ができません。ナースステーションで観覧させていただきます。 ・病状については、医師が本人及びご家族様に電話で説明いたしますが、日程・時間帯は医師に相談してください。 ・原則、病棟への問い合わせは、業務中になるためご遠慮ください。 ・入院の手続きは、前夜からの「退院証明書」を元に事務が行います。ない場合は、ご家族様へ電話連絡させていただきます。 ・退院の手続きは、後日、事務から入院費用についてご連絡させていただきます。お支払いとなります。 ・衣類などの洗濯は、院内の業者を利用いたします。衣類の貸し出しも可能です。 ・お荷物の宅配サービスのご利用が可能です。必要時、本人と相談して受取先をお知らせします。 ・患者様の病状により、携帯電話が病室内での通話が可能です。</p> <p>患者様・ご家族様にご安心いただけるようスタッフ一同頑張らせていただきます。</p>
--	---	--

患者受け入れの実際

3)患者の対応②

➤日々の対応

防護具は3種類
 実施する処置・治療・ケアにて異なる

➤防護具着用中の特徴

視野が狭くなる
 指の巧緻性が失われる



患者受け入れの実際

3) 患者の対応③

➤ その他

- 理学療法士と連携
- 認知症ケアチームと相談
- 病棟の対応方法を

マニュアルとしてまとめた

《新型コロナウイルス感染症対応マニュアル》

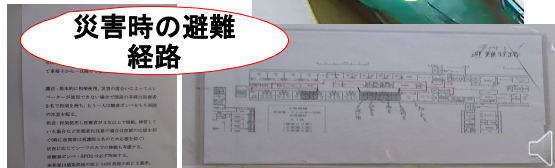
- 1. 目的
- 2. 対象
- 3. 役割
- 4. 対応手順
- 5. 感染予防対策
- 6. 退室後の対応
- 7. その他

マニュアル

室内歩行
練習



災害時の避難
経路



患者受け入れの実際

4) こころのケア

スタッフ

患者・家族

- 情報が少ない中での不安
- 自分自身の感染に対する恐怖
- 社会的差別を感じる

- 症状の苦痛
- 病状経過への不安
- 後悔
- 隔離に対する閉塞感
- 社会復帰後の差別

- スタッフ同士での励まし
- お互いに確認しながら確実に感染予防実践
- 院内「こころのケアチーム」が発足
- 看護スタッフ全員が面談

- 訪室・内線電話でのコミュニケーション
- 病室での携帯電話使用許可
- 「こころのケア」窓口として紹介
- 買い物代行
- 家族からの宅配便受付

結果

- 病態的経過の把握
- ベッドサイドの滞在時間の短縮
検温・病室内の清掃・環境整備・清潔ケアなど
2時間→1時間
- 感染防止対策を企てながら看護ケアを実施

ケアが拡大

看護の喜び
達成感



まとめ

- 病院長・看護部長が病院の方針を表明
- 感染隔離病棟としての条件が揃っていた部署あったため、使命感が備わっていた
- 専門的知識・技術の指導をうけ、責任感が沸いた
- 誰もが未経験のことであったため、経験年数に関わらず、良い方法を見出しながら協働できた
- 効率的で効果的な支援方法をみんなで話し合っ看護を実践

まとめ

チームワーク: 一定の目標達成のために一つの集団が協同して行う活動(看護学大辞典)

組織の3要素: 共通目的・貢献意欲・コミュニケーション(バーナード)

COVID-19感染症病棟体制の構築



最後に

臨床経験を通してCOVID-19感染症の医療・看護が構築されてきていると感じています。

多くの方の協力を得て、患者様が安楽になるよう安全に活動していきたいと考えています。

ご清聴ありがとうございました

